

大道昌弘大和尚



令和五年二月三日

午後二時三十八分 遷化

法齡 五十八歳

世壽 八十二歳

遺偈 (ゆいげ)

～ご自身の境涯を振り返って残した最期の言葉～

意味

七顛八倒の苦しみはまさに石火電光を浴びるようなものであろう。

人生は苦なりの教法を踏まえて、私は只々黄泉への道を一途に歩み、一切の物を捨ててひたすら仏陀の元に帰る。

七顛八倒 (しちてんぱつとう)
石火電光 (せつかでんこう)
黄泉一路 (こうせんいちろう)
空手還郷 (くうしゅげんきょう)